

絵画修復工房YeY

高精度な修復作業と詳細な修復報告書の作成を実現

モニター付実体顕微鏡、可動式アーム、データ・画像管理システムの導入



導入背景

高精度な修復作業が難しい環境

高精度な観察・修復を行うための高倍率視野下での作業手段がない。岡山県工業技術センターで実体顕微鏡を借用しているが、アームが短く、大きな絵の中央は観察・修復することができない。また、データ・画像が効率的・機能的に管理されていないため、修復報告書の作成に時間を要するほか、業務予定が立てにくく、過去の顧客情報・修復カルテの検索にも手間がかかる。

実施内容

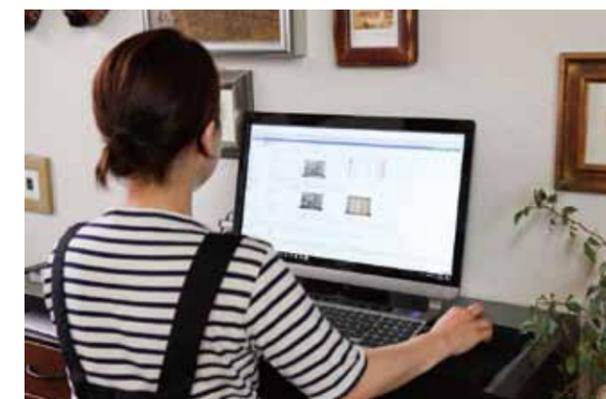
高精度で大きな絵も修復できる設備

モニター付実体顕微鏡を導入し、絵画の修復作業動線に適したアームを製作して取り付ける。アームは200号のような大きな絵にも対応できる可動範囲を備え、イーゼルに絵を立てた状態でも使用できるようにした。顕微鏡の種類を変更したほか、イーゼルで使用する時は顕微鏡と絵の傾きが一緒になるようにした。データ・画像管理システムは既存ソフトをカスタマイズして導入した。

事業成果

観察・修復の作業性が格段に向上

高倍率視野下での観察・修復作業が可能になり、モニターで200倍までの拡大データが取得できる。観察・修復の作業性が向上し、納得のいく精度に達することができた。また、美術作品調査カルテを作成し、データ・画像の一元的な管理を実施。データ・画像管理を効率化したことで、修復報告書の作成が容易になった。これらの結果として新たに2館の美術館と取引が成立した。



工房から一言

修復作業に達成感を覚えながら、実績と信頼関係づくりに励む

初めに導入した棒状の顕微鏡は長すぎて、見ながらでは絵に手が届かないことが判明。業者の人が卓上タイプのをカスタマイズしてアームに取り付け、角度を変えられるようにしてくれました。今は修復を終えた時に達成感があり、過程の説明もスムーズにできます。修復報告書には修復前後の写

真や状態の説明を入れるほか、修復に使用した材料を表記して、次回の修復の際の参考になるようにしています。高精度の修復で実績を築き、美術館との信頼関係を広げていくのが目標。科学的データを集積して研究も進めたいですね。

代表 斎藤 裕子

■ 高倍率視野下で修復技術を発揮し、取引先の拡大を目指す

絵画修復工房YeYは、2人の絵画修復士が平成18年に設立。美術館・画廊、個人コレクターを顧客に、油彩画と額縁の保存修復を専門に行っている。2人はイタリア・フィレンツェの美術品修復家養成専門学校で油彩画修復の理論と技術を学び、カリキュラム修了後、トスカナ州認定絵画修復技師免許を取得。フィレンツェの工房での修業を経て岡山で開業した。絵画修復士は絵画の修復技術のほか、科学的な知識をもとに画材の特性を理解することや、素材劣化を究明することも求められる。日本ではほとんどの美術館が絵画の修復を専門業者に外注。

修復を確実にできることに加え、作品研究や作品管理のためのデータをどれだけ提示できるかが、業者選定のポイントになる。同工房では油彩画の科学的データの収集、科学分析や化学の専門家との情報交換や共同研究を実施。その取り組みが顧客獲得やリピート、新規紹介に繋がっている。美術館に対しても「より高精度な修復技術」と「より詳細な科学的データ」の提供を図る。そのためにモニター付実体顕微鏡と可動式アーム、データ・画像管理システムを導入。高精度な修復作業と詳細な修復報告書の作成を可能にし、取引先と売上の拡大を目指す。



事業者の概要

代表者名 斎藤 裕子
 設立年月 平成18年9月
 所在地 〒703-8291 岡山県岡山市中区徳吉町2-5-11
 TEL/FAX TEL.086-201-8263 FAX.086-201-8263
 U R L http://studioyey.jp/
 従業員数 1人
 業 種 技術サービス業
 事業計画名 モニター付き実体顕微鏡と顧客・作品管理システムの導入による美術館向け油彩画修復サービスの開発